

表1. 2018/2019シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2019/10/04

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬						エンドヌクレアーゼ阻害薬				
	ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬				ノイラミニダーゼ阻害薬		M2阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	6 <sup>a</sup> (1.8%)	21 <sup>b</sup> (1.0%)	21 <sup>b</sup> (1.0%)	0	0	193 (100%)	34 <sup>c</sup> (9.6%)	0	0	0	0	155 (100%)	0	0	1 <sup>d</sup> (0.6%)	0	0
解析株数	335	2,175	2,175	345	345	193	356	332	332	332	332	155	42	161	161	161	161
分離・検出報告数	3,047						4,684						631				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、I38T/F/K/M/R/S耐性変異をもっていた。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。

<sup>a</sup> うち薬剤未投与例 0、薬剤投与例 6

<sup>b</sup> うち薬剤未投与例 4、薬剤投与例 17

<sup>c</sup> うち薬剤未投与例 5、薬剤投与例 29

<sup>d</sup> うち薬剤未投与例 1